

## 秋(10月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### オオオナモミ(キク科)

(実)10月上旬～11月上旬  
はず池西側



特定要注意外来種です。在来のオナモミはほとんどみられなくなっています。写真のように茎は紫色にはなりません。この実のイガがマジックテープ発明のヒントになったそうです。

### カツラ(カツラ科)

(黄葉)10月～11月上旬  
北口広場



ハート形の小さな葉が10月になるといち早く黄葉し甘い香りを漂わせながら落葉していきます。

### サンシュユ(ミズキ科)

(実)10月～1月  
しょうぶ園



早春の黄色い花が秋になるとグミのような赤い実になります。この実は強精・解熱作用があるとされ漢方薬の材料として使われます。

### シャクチリソバ(タデ科)

10月上旬～10月下旬  
はず池北側



薬用に中国から取り入れた外来種です。ソバそっくりですが、葉は大きく三角形。他の植物を排除する成分をもち、またたくまに生育場所を広げます。公園では駆除の対象です。

### タンキリマメ(マメ科)

10月下旬～11月下旬  
林内



サヤは真っ赤に熟し豆果は真っ黒でコントラストがすばらしい。咳止めやたん切りの民間薬として使われていました。

### ツクバトリカブト(キンポウゲ科)

10月中旬～11月中旬  
里山花壇



秋の中後半に花を咲かせます。花形が兜(かぶと)のよう。深紫色の花は美しいです。

## 秋(10月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### ニシキギ(ニシキギ科)

10月下旬～12月上旬  
はず池西側



枝にコルク様のヒレがつきます。葉は秋の早くから真紅の紅葉となります。

### ノササゲ(実)(マメ科)

10月下旬～11月下旬  
あし原湿原北側



夏には薄黄色だったラッパ状の花が、秋には白いサヤの中に紫色のマメがつきます。

### フユノハナワラビ(ハナヤスリ科)

10月～1月  
林床



秋から冬にかけて生育する冬緑性で、まっすぐのびる胞子葉が花のように見えます。よく似たオオハナワラビとの違いは葉の縁は鈍鋸歯で尖らないことです。

### ミゾソバ(タデ科)

10月上旬～10月下旬  
しょうぶ園



葉は牛の顔形で花はコンペイトウのようです。白い花を咲かすタイプもあります。白タイプはどこに生えているか探してみましょう。

### ヤクシソウ(キク科)

10月上旬～11月中旬  
じゃぶじゃぶ池園路など



11月に入り野生の花がなくなってきた時期に、植栽のキクに負けずに多数の花を咲かせます。花びらの先には切れ込みが入っています。

### ヤブコウジ(ヤブコウジ科)

実は10月下旬～1月  
園内では数少ない



夏に咲く白い花は目立ちませんが、秋になり可憐な赤い実を付けます。マンリョウと共にこの公園にもっとあってもよいのですが、生育株数はごく僅かです。ジュウリョウとも言われ、縁起ものの植木に使われたり、植木メッセージ・プレゼントにもされています。

## 秋(10月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### ルリハツタケ(ベニタケ科)

10月  
林床



直径8cmほどで傘に鮮明なルリ色の渦模様。まるで陶器のよう。傷がつくとルリ色の液が出て後に緑色に変わります。